

(ユナイト)

Unite・団結だより

by ながた

第 8 号**神原中・神原小・壺屋小
発行責任者 上地幸市**

いよいよ9月14日(水)は、壺屋小において第2回の合同授業研修会が行われます。そこで、研究主任の古堅洋平先生に授業研のテーマや授業を見る視点等について情報を寄せて頂きました。

テーマにあるように、授業について語り合い、楽しい時間にしていきましょう。

壺屋小学校校内研テーマ**児童に寄り添う体育授業・体育的活動の構築**

～育てたい資質・能力を具現化する見取りと評価の研究を通して～

研究の柱① 体育研究で培った実践や活動を壺屋小の課題解決に永続的に生かす
研究の柱② 学習評価における教師の見取りと評価のスキルアップを目指す

壺屋小公開授業テーマ

「児童の学びと育ちを見取り、授業について語り合い、授業実践に生かす」

現在、壺屋小学校では、体育を軸に研究を行っていますが、小中一貫のねらいのひとつ「指導感の共有」をより効果的に学び合うことができるように、全学年(特別支援も含む)で公開授業を行います。

そして、授業のねらいを焦点化するため、那覇教育事務所から提供されている単元プランシート・授業プランシートを活用して授業づくりを行いました。このシートを活用したもうひとつの理由は、全学年を公開することによる指導案作成の負担感を軽減するためでもあります。

壺屋小学校では「働き方改革」についても、校内研のテーマとして示しているのですが、今回の授業を通して、神原中校区の先生方と、児童の実態に応じた効果的な指導の工夫を共有し、お互いの授業実践に生かすことができたらと考えています。

今回の授業を見る視点は、壺屋小学校校内研究の柱①「学習評価における教師の見取りと評価のスキルアップ」です。壺屋小学校の先生方が目指すB評価に児童が育っているか見取っていただきたいと考えています。

観点は見取りの難しい「思考・判断・表現」に絞ります。教師の手立ての有効性、さらにはB評価の育っていない児童への手立ての提案などについて授業研究会で話し合ってくださいと考えています。

コーディネーターからのお願い

授業研究会は、司会を神原中、記録を神原小の先生でお願いします。また、記録者は、報告書を研究会終了後、壺屋小教務の仲宗根先生まで提出してください。

保護者も「頑張っています！」 ～神原小読み聞かせサークルの皆さん～

神原小の読み聞かせサークル「むくむく会」は、毎週火曜日の8時15分～35分までの20分間、各学級に入って絵本の読み聞かせを行っています。

在校生の保護者を中心に、卒業した児童の保護者の協力も得ながら、15名ほどのメンバーで楽しく取り組んでいます。人数が少ないため、全学級に入ることができないことが悩みの種ようです。

「保護者、特に父親の参加や地域の皆さんの参加をお願いしたい。また、朝の交通安全指導を行っている指導員の皆さんも、終了後に参加していただくとありがたいですね。」と代表者が話していました。

この記事を読まれた方、あなたの出番ですよ。



絵本の読み聞かせの時間、待ち遠しかったよ。
子供たちは集中して聞いています。
イイですね！



小小連携による指導案検討会がスタート！ ～夏期休業中に壺屋小・神原小体育科合同研～

両小学校では、9月14日と29日に予定されている第2回、第3回小中一貫教育合同授業研に向けて、両校の体育主任と壺屋小研究主任が参加して指導案検討会を行いました。

授業は、壺屋小では6年担任の小松先生による跳び箱運動の授業、神原小では体育専科、上原先生による6年生の短距離走・リレーの授業を提案することになっています。

指導案検討会では、授業者の先生から授業づくりの課題について説明があり、その解決に向けて意見交換を行いました。

跳び箱運動の課題として、「個別最適な学び」において指導の個別化と学習の個性化を授業でどう組織するかや技の達成型、克服型以外の楽しみ方として、友達と技をシンクロする活動を取り入れることについて協議しました。

また、短距離走・リレーでは、競い合う楽しさや記録に挑戦する楽しさを保障するために、8秒間走や折り返しコーンワークリレー、トラックワークリレーなどの活動を取り入れることについて、実践事例を基に意見交換が行われました。二人とも当日までの間に授業を見せ合い、練り上げていきたいと意気込みを語っていました。



